

テーマ「郡山市における環境放射線モニタリングについて」

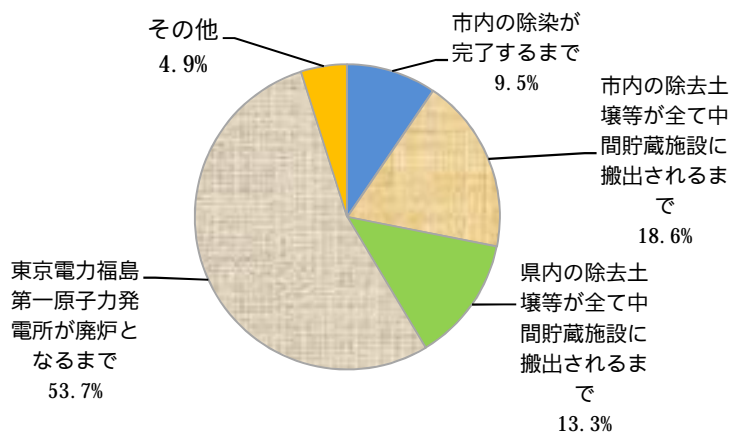
原子力規制庁では、空間線量率の時間的な変動が小さく安定してきており、多くの地点で連続的に測定する必要性は低くなっていることから、今後、リアルタイム線量測定システムによる測定については、避難指示区域等を中心に継続することを検討しており、市内に設置されたリアルタイム線量測定システムが今後撤去される可能性が生じております。

つきましては、市民の皆様の意見を伺い今後の本市における環境放射線モニタリング体制整備の参考とするため、アンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。

- 調査期間 平成28年11月11日(金)～11月20日(日) (10日間)
- モニター数 328名 (男性 138名 女性 190名)
- 回答者数 285名 (男性 122名 女性 163名)
- 回答率 86.9%

問1 東京電力福島第一原子力発電所事故から5年余りが経過し、市内各所の空間放射線量率は、時間的な変動が小さく安定してきています。このような状況において、今後の本市における環境放射線モニタリングはいつまで継続すべきと考えますか？
【1つ選択】

選択肢	回答率
市内の除染が完了するまで	9.5%
市内の除去土壌等が全て中間貯蔵施設に搬出されるまで	18.6%
県内の除去土壌等が全て中間貯蔵施設に搬出されるまで	13.3%
東京電力福島第一原子力発電所が廃炉となるまで	53.7%
その他	4.9%

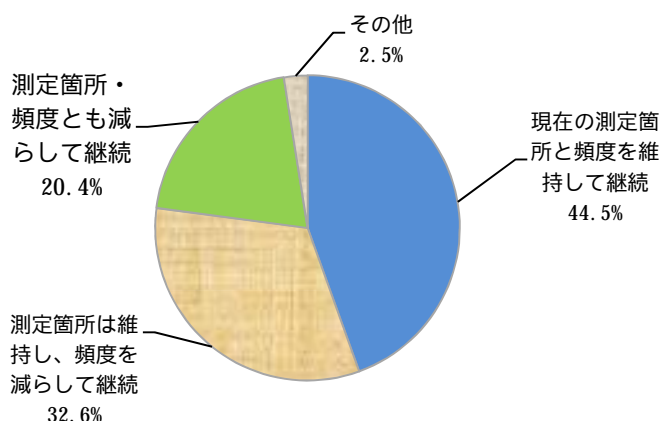


※「その他」を選択した方の主な意見

- ・現在、0.2以下の地点は測定不要と思う。
- ・しなくていい。きりがいい。
- ・数値がかなり低くなって久しいので、測定地点によっては終了してよいと思う。
- ・未来ある小さな子供たちの安全安心のためにも半永久的に。
- ・「空間放射線量は小さく安定してきている」といった表現は変。低放射線量の危険性を指摘する説の考慮を。

問2 郡山市における環境放射線モニタリングは、どのような形で継続すべきと考えますか？【1つ選択】

選択肢	回答率
現在の測定箇所と頻度を維持して継続	44.5%
測定箇所は維持し、頻度を減らして継続	32.6%
測定箇所・頻度とも減らして継続	20.4%
その他	2.5%



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・測定箇所を増やす。頻度は現状維持程度で。
- ・モニタリングなんてすると、いつまでも放射能を気にしてしまうので、継続しなくていいです。